



『幸せな王子』

オスカー・ワイルド

広場に立てられた王子の像は、宝石でできた自分の目や体じゅうの金箔を、ツバメに頼んで貧しい人々に分け与えてしまいます。やがて冬が訪れ、鉛の心臓になった王子とツバメの亡骸は.....

形にはできない大切なことを、果てしない優しさで伝える物語。



『ほんもののプレゼント』

オー・ヘンリー

若く貧しい夫婦が、クリスマス・イブに贈りあった精いっぱい、心の通ったプレゼント。自分の大切なものを失っても、相手に届けたい想い。少し切なくも、心温まる物語。

オー・ヘンリーの傑作『賢者の贈り物』の新訳版絵本。



『神さまの貨物』

ジャン＝クロード・グランペール

大きな暗い森に貧しい木こりの夫婦が住んでいました。今日の食べ物にも困るような暮らしでしたが、おかみさんは「子どもを授けてください」と祈り続けます。

そんなある日、森を走りぬける貨物列車の小窓があき、雪のうえに赤ちゃんが投げられました。

明日の見えない世界で、託された命を懸命に守ろうとする大人たちの姿があります。

《Christmas企画》

～あの人を大切に想う物語～

みなさんが想う、大切な人はそれぞれでしょう。このクリスマスの時期に、あらためて誰かを大切に想う。

そんな時間をつくってみるのも、素敵なことだと思います。

ここで紹介する本は、主人公が、誰かを大切に想う気持ちが描かれています。自分のこと以上に相手を想い、気持ちを向ける姿に、胸が熱くなることでしょう。

ぜひ、みなさんにとっての大切な人のことを思い浮かべながら、読んでみてほしいと思います。



『くまとやまねこ』

湯本香樹実

突然、最愛の友だち・ことりをなくしてしまった、くま。大事な何かを失うというのは、自分自身の一部を失うことと等しい。暗く締め切った部屋に、ひとり閉じこもっていたくまでした.....

しかし、時が経ち、くまに光とも言うべき希望が訪れます。



『カモメに飛ぶことを教えた猫』

ルイス・セプルベダ

銀色のつばさのカモメ：ケンガーは、とあるバルコニーに墜落してしまいます。そこには一匹の黒い猫がいました。名前はゾルバ。瀕死のカモメは、これから産み落とす卵をこの猫に託すこととなります。しかし、その前に3つの厳粛な誓いを猫のゾルバに立てさせます。

その誓いとは？

必死にその誓いを守ろうとする猫のゾルバの姿に胸が打たれます。